PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

05-083440

(43)Date of publication of application: 02.04.1993

(51)Int.CI.

H04N 1/00 G03G 15/00 G03G 15/01 G03G 15/22

(21)Application number: 03-238161

(22)Date of filing:

230101

(71)Applicant : KONICA CORP

(72)Inventor: MURAHASHI TAKASHI

YOKOBORI JUN SHIJO KUNIO

NAKAYAMA TSUTOMU

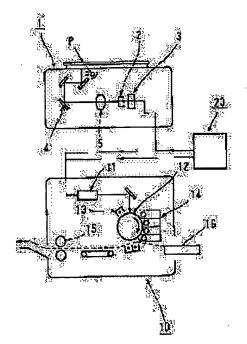
(54) MULTICOLOR COPY FACSIMILE SHARED DEVICE

18.09.1991

(57)Abstract:

PURPOSE: To make recording paper and document size simple and easily visible, and also, to reduce the cost by displaying them in common.

CONSTITUTION: The device is constituted of a reading part 1, a receiving recording part 10 and a signal processing part 20, and provided with a mode switching panel, a paper size selecting panel and a color mode selecting panel. In such a state, whenever a cassette size SW of the paper size selecting panel is depressed, in accordance with a copy mode or a read mode, size of each recording paper or document is selected successively, and its selected size is displayed in common on the same display panel by an LED. In such a way, recording paper and document size become simple and easily visible, and also, the cost can be reduced.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (JP)

(a) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号

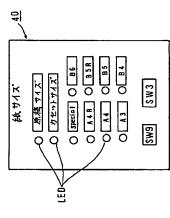
特開平5-83440

(43) 公開日 平成5年(1993) 4月2日

技術表示箇所	(全5月)	(71) 出版人 000001270 コニカ株式会社	東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 村路 李 東京都八王子市石川町2970番地コニカ株式 会社内 機場 潤 東京都八王子市石川町2970番コニカ株式会 社内 取り 邦夫 東京都有区西新宿1丁目26番2号コニカ株	
<u>.</u> <u></u>		(71) 出版人	(72) 発明者 (72) 発明者 (72) 発明者	
職別記号 庁内監理部号 106 B 4226-5C 302 8004-2H R 7818-2H 103 D 6830-2H	密査請求 末請求 請求項の数2	特顧平3-238161	平成3年 (1991) 9月18日	
1/00 15/00 15/01 15/22	粮	4		
(51) Int. Cl. 8 H 0 4 N G 0 3 G		(21) 出版路号	(22) 出版日	

(54) 【発明の名称】マルチカラーコピープアクシミリ複合装置

縁紙と原格サイズの表示がそれぞれ別々に設置されてい て、各種モード毎にばらばらに投示されるため、投示パ へく、投示の解説や国道う等の誤題があったが、記録紙 と原格サイズの表示を共通にすることによってこの課題 を解決し、簡単で見易く、低コストのファクシミリ装置 【目的】 従来のマルチカラーファクシミリ装置では記 ネルが大形となり、コスト高となると共に、複雑で見に を提供する. マルチカラーコピーファクシミリ複合装置に おいて、記録紙のカセットサイズの表示部と原稿サイズ の表示部を共用し、使用モードに応じて自動的に表示を 切り替えるようにし、また説み取りモード時に、最大原 **馅サイズを投示するこように構成したマルチカラーコピ ーファクシミリ複合装置** [華]]



Best Available Copy

8

特開平5-83440

ると共に、該画像情報を受信し記録紙に記録するファク シミリとカラー複写機とを一体化したマルチカラーコピ **ーファクシミリ複合装置において、配録紙のカセットサ** イズの表示部と原稿サイズの表示部を共用し、使用モー ドに応じて自動的に表示を切り替えることを特徴とする 【請求項1】 複数の色からなる原稿画像情報を送信す マルチカラーコピーファクシミリ複合装置。 特許超状の範囲】

[請求項2] 読み取りモード時に、最大原稿サイズを 表示することを特徴とする請求項1記載のマルチカラー コピーファクシミリ複合装配。

[発明の詳細な説明]

[産業上の利用分野] この発明は、マルチカラーコピー ファクシミリ複合装置に関するもので、特に各使用モー ドの表示部に関するものである。 [0001]

(0002)

の画像を同時に走査するものや、V (イエロ). M (マ 【従来の技術】従来のマルチカラーファクシミリ装置と しては、例えばG2ファクシミリ信号に対応して赤、黒 ゼンタ). C (シアン) 等の3原色とその混色によるマ ルチカラーを電送する場合には、各色ごとに画像情報を 1 ページ分プン電送する面面次方式、また基本的方式は 面順次方式と同じだが、各色ごとの画像情報の電送を走 **査験単位で行う数順次方式等がある。そしてこれらの装** し、その使用時の記録紙や原稿サイズの表示は個々に表 **聞はコピーや送受信等の各種モードを切り替えて使用**

[0003]

(発明が解決しようとする課題)以上の各使用モード時 の記録紙と原稿サイズの表示はそれぞれ別々に設置され ていて、ばらばらに投示されるため、表示パネルが大形 となり、コスト高となると共に、複雑で見にくく、表示 の解説を間違う等の問題があった。 [0004] 【眼脳を解決するための手段】本発明は以上の課題を解 **次するために、なされたものであって、それは複数の色** からなる原稿画像情報を送信すると共に、該原稿画像情 報を受信し記録紙に記録するファクシミリとカラー複写 **機とを一体化したマルチカラーコピーファクシミリ複合 装置において、記録紙のカセットサイズの表示部と原稿** サイズの表示部を共用し、使用モードに応じて自動的に **表示を切り替えることを特徴とし、また読み取りモード** 時に、最大原稿サイズを表示することを特徴とするもの

40

[実施例] 本発明に係るマルチカラーファクシミリ装置 [0005]

[0006] 原稿Pからの反射光をミラー4、レンズ5 は図3にその構成を示すように、説み取り部1と受信記 碌邸10と信号処理部20から構成されている。

22

苧から成る光学系を経て、フィルタ2で3色分解し、結 像されてCCD3で説み則られ電気信号となる。そして 後に詳しく説明する信号処理部20によって所定のファク され、電送される。又受信したファクシミリ信号はやは り倡号処理部20で画像信号(画像情報)に変換され記録 第10のレーザーⅡを変闘し、慰光体ドラム12に潜像を形 ムによって転写し画像を得る方式がある。しかし最近は この低写ドラムを用いない方式がある。この方式は、ま 目の画像信号で歐光し、川成された潜像を現像器14によ って反転現像して1色目のトナー像を形成する。次にこ 目の戯光を行い、反転現化により2色目のトナー像を形 成する。この工程を繰り引すことによって感光体ドラム 然ローラ15で定着することにより記録画像を得るもので 成し複数色のトナーで現似し、このトナー像を転写ドラ ず欧光体ドラム12を帯電器113により均一に帯電し、1色 の1色目のトナー像の感光体を再び均一に帯信し、2色 シミリ信号 (G 2、G 3、デジタル等) に変換 (変類) 12には複数色のトナー像が重ね合って形成している。そ してこの複数色のトナー化を記録紙16に一回で転写し、 2

部10に接続すれば複数色::ピーの機能となるのは勿論で W1とSW2があり、SV1を押す年にプリンタ送信34 とブリンタ35の各モードに切り替わりそれぞれのLED で投示される。同様SW2を押す年に記録33、説み取り3 2、コピー31の各モードに引り替わりしEDで投示するの 取られる原格のうち最大の原格サイズが推選択パネル上 に扱示される。そしてスイッチSW1が押されるとSW 2に関するモードは自動的にクリアされ、又スイッチS W2が押されるとSW1に関するモードは自動的にクリ モード切り替えパネル30にはモード切り替えスイッチS を基本とするが、説み取りモードが選択されると、説み ある。前記説み取った画像書号を配送せず直接受信記録 ある。図2はモード切り髱えパネル30、図1は紙サイ ズ路投パネル40 、 図4 は 5モード路投パネル50の各平 面図であり、図5は信号を、理部20のブロック図である。 20 30

クシミリ送信のために顧むを説み取る。そしてコピーモ **一が可能となり、説み取りモード32を選択すると、ファ** 【0007】コピーモート31を協択すると、通称のコピ 替えスイッチSW-aは後点eと接続され、又SWbは

トサイズスイッチ SW3を 拝す 毎に、コピーモードが税 またGI 格が化画像か画像かによってスイッチSW9を押 **【0008】また図1の4.サイズ選択パネル40でカセッ** イズB4・B6・A3・A4R・Spicialを順次選択することがIII すことによって画像袋凾モードか写真モードを選択する ことが出来、写真モードが選択されると、図5のSW9 は接点8と接続し、韓國モードが選択がされれば、接点 来、その選択されたサイスをLEDで共通に投示する。 み取りモードかによって、それぞれ記録低又は原稿のサ 接点cと接続されている。

特開平5-83440

ල

【0012】また選択スイッチSW1を押してプリンタ モードを選択すると、本マルチコピーファクシミリ装置 はプリンタとして動作する。この場合、図5の切り替え チSW-bはd接点に接続され、プリンタコントローラC スイッチSW-aはf接点に接続され、切り替えスイッ 「からの画像データは制御邸23を軽て記録部10に転送さ れ記録 (プリントアウト) される。 [0000] 次に色モード選択パネル50には例えば赤は SW8の各釦スイッチがあり、それぞれのスイッチを押 り、また色変数用にSW6、多色用にSW7、単色用に SW3、時はSW4、肌はSW5の各割スイッチがあ すことによって各色モードを選択することが出来る。 【0010】多色モードが選択された場合として黒、 [0013] またプリンタ送信モード34が選択されると トアウトすることなしに、直接FAX部を軽由して送信 することが可能となる。この場合は、図5の切り替えス 説み取って送信する場合と同様に処理され、あらかじめ ンタコントローラからの画像情報を送信する場合いちい ちプリントアウトし、再度説み取る必要がなくなり、送 **煎記プリンタコントローラCTからの画像データをプリン** 設定されている送信先へ送信される。これらによりプリ イッチSW-aはf接点に接続され、以下は前配原稿を 信に対する手間が大幅に改善される。 2

像信号(情報)は図5の画像処理部22、制御部23、を経

1、赤はM2、背はM3にそれぞれ配位される。そして FAX第のメモリ1ページ目の国像情報として、上記画

してスイッチSWaを組て、S/P 変換器25でシリアル 2, M3…M1に記憶される。即ちこの例では黒はM

信号をパラレル信号に変換して画像メモリーM1, M

像メモリM1、M2、M3の各画像データから作られた 2ページ目の画像情報は赤の画像情報がそのままFAX

川+赤+背とした合成情報がFAX部26に転送される。

で原稿を3回走査して説み取り、その黒、赤、背の各画 由し、写真画像であればスイッチSW9は接点gに接続 されて多価化回路29で疑収略調が根とし、また級画画像 であれば接点りに接続されて、2値化回路24に入る。そ

赤、背の3色を例に説明する。この場合は説み取り部1

【発明の効果】従来のマルチカラーファクシミリ抜出で は、記録紙と原稿サイズ表示がそれぞれ別々に設置され ていて、各種モード毎にばらばらに表示されるため、表 示パネルが大形となり、コスト高となると共に、複雑で 見にくく、投示の解説を間違う等の課題があった。しか し記録紙と原稿サイズの表示を共通にすることによって この歌題を解決し簡単で見易く、低コストのファクシミ り装置を提供出来るようになった。 [0014] 20

> 邸に転送され、3ページ目の画像情報は草の画像情報が そのままFAX部に転送される。これら各色の画像情報 は画像圧縮等の処理が施された後、図6に示すように丸 で示した各色を含む画像情報を3ページをつなぎ合わせ た及尺原稿1ページとしてFAX部26にある同様の画像

【図面の簡単な説明】

[図1] 低サイズ磁投パネルの図。

【図3】本発明のマルチカラーファクシミリ装置の構成 【図2】モード切り替えパネルの図。

30

ラーファクシミリ牧邸でなくモノクロのフアクシミリ装

の画像情報を全て送信する。しかし受信装置がマルチカ 四である場合には上記1ページ目の画像情報のみを送信

メモリに記憶される。そして受信装置が送信装置と同じ マルチカラーファクシミリ装置であれば上記 3 ページ分 [図4] 色モード選択パネルの図。

【図5】信号処理部のブロック図、 【図6】メモリへの転送の図。

> ド又は説み取りモードが選択されていて、かつアイドリ ング状態にあるとき受信情報がFAX部26のメモリに記

録されていれば記録動作が実行される。FAX部26のメ

モリに記録されている合成画像情報、黒+赤+背と、個 々の赤、背の各画像情報に対して伸長処理等を行って、 | ページ目として画像メモリM 1 に合成画像情報、 駅+

【0011】次にモード切り替えパネル30でコピーモー

[符号の説明]

説み取り部

色フィルタ CCD

既光体ドラム 非色铅

受信記録部

アンメ

赤+背を記憶する。2ページ目として赤の画像情報を画 40

像メモリM2に記憶すると共に画像メモリM1の画像情 **背の画像情報を画像メモリM3に記憶させると共にメモ** よって画像メモリM1には黒の画像情報のみが記憶され

報から赤画像の情報を消去する。同様3ページ目として リM1の画像情報から背の画像情報を消去する。以上に ていることになる。作成された画像メモリの黒、赤、背

信号処理部 面像処理部 色現像器 然ローラ

2 億化回路

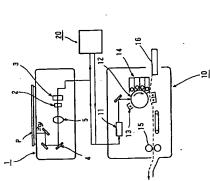
24

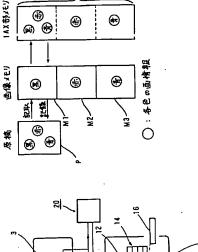
塑缸锅

シリアル信号に変換し、切り替えスイッチSW-b、制御 **邸23を経て受信記録邸10に転送され、記録抵に記録され**

の各画像情報はP/S変換器27によってパラレル信号を

特開平5-83440 〇色安林 0 % E 0 8 8 8 8 8 2 W 6 [図4] 色モード SW1, SW9 モード遊択館スイッチ **B**# (5) # S * SW-a, SW-b スイッチ回路 紅サイズ選択パネル 50 色モード遊択パネル る既可 0 版理 0 SW2 FAX LED 表示 [図2] モードなり換え 17.18 <u>حزاز 0</u> 3 O AAR O BSR 0 14 0 140 (14)0 0 [3900] 0 シリアル/パラレル変換器 パラレル/シリアル変換器 原稿 サイス O 22-1-717 SW3 [図1] 執サイズ モード切り替えパネル 乡镇化回路 F V X 選 25 26 23





€

が スポット ジャブ

(£)

(1)

(回回)

[図3]

Best Available Copy

特開平5-83440

(2)

[図2]

180H 與集1911Anaq人 lairee: 9\2 MOR MAA C b n ŌĪ 145 E q咅 X A 귀 ĹΖ 符段38 5¢ I M 劇画 (子) 疳积根 裙计斜 と値に 8 6MS j 製 KI S-W2 Wi M3 借取88A画 SZ **皓**灰赭 62

フロントページの税き

(72) 死明者 中山 勉 東京都新街区西新宿1丁目26番2号コニカ 株式会内